

褥 瘡 対 策

褥瘡対策チームは、平成 14 年 10 月に設置され、多職種混合のチームで活動している。

1. スタッフ

- ・皮膚科医師 1 名
- ・看護師 2 名
- ・薬剤師 1 名
- ・栄養士 1 名
- ・事務職員（医事課専門職員）1 名

2. 活動内容

褥瘡の予防と早期発見、早期治癒を図るために平成 14 年 10 月から褥瘡対策チームが設置された。皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、薬剤師、管理栄養士及び事務職員（医事課専門職員）で構成され、褥瘡を発症した患者のケア・指導、褥瘡発症のリスクが高い患者のケア指導、褥瘡予防用具の選定・紹介、職員への啓発活動、褥瘡発症や予防効果などのモニタリングと実績評価などを行っている。また、院内における褥瘡対策の標準化を図る目的で「褥瘡対策マニュアル」を平成 15 年 3 月に作成し、平成 30 年 5 月に 11 回目の改訂を行った。

褥瘡対策として、全ての入院患者に対し日常生活自立度、褥瘡の有無、褥瘡発生の危険因子を評価して電子カルテに記載し、「入院診療計画書」に褥瘡対策の必要性の有無を入力している。必要時は「褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書」を記載のうえ、ケア実施、評価を行っている。褥瘡発生の危険性が高い場合や予防計画を実施しても褥瘡が発生した場合、褥瘡の状態に改善がみられない場合は、「褥瘡回診依頼書」を用いて病棟から褥瘡対策チームに往診を依頼することができる。

3. 活動体制

(1) 褥瘡対策チームによる褥瘡回診

- 1) 依頼のあった患者を 1 週間に 1 回往診する
- 2) 褥瘡対策チームの往診時の活動
 - i) 医師：診察、局所の観察、処置方法の選択・実践 当該科医師・看護師への指導
 - ii) 看護師：診察、処置介助及びスキんケアや体圧管理の指導と実施
 - iii) 薬剤師：使用薬剤に対する指導
 - iv) 栄養士：栄養状態の把握と栄養管理上の指導
- 3) 回診症例の中で栄養調整が必要であると判断した症例は、栄養サポートチームと連携して早期治癒を目指す

4. 活動実績

褥瘡対策チームにおける平成 30 年度の褥瘡回診は 56 例、103 回であった。また、院内発生褥瘡件数は 85 件であった。

スキんケアリンクナース会を 4 回実施した。